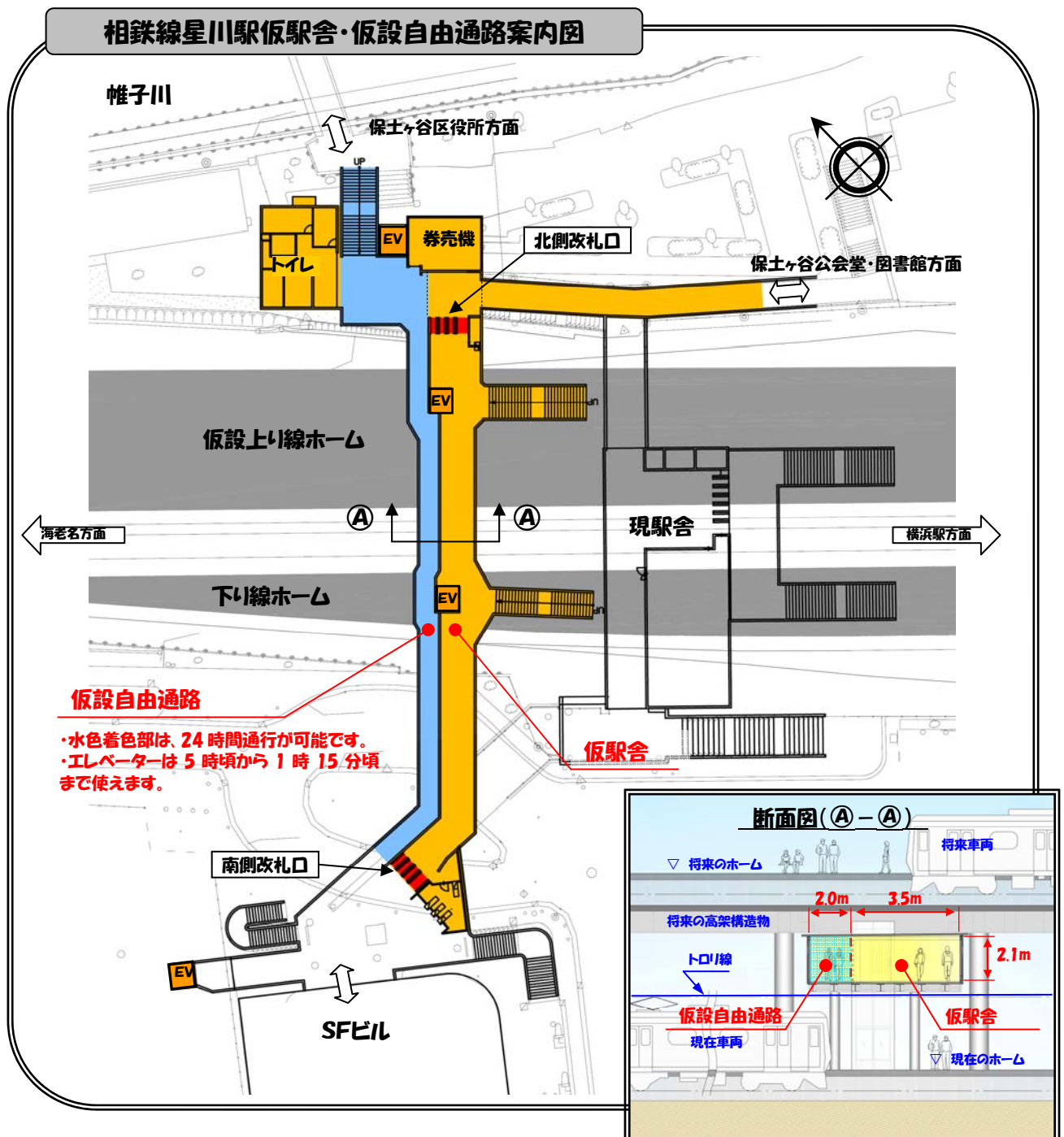


相模鉄道本線星川駅仮駅舎の供用について

～相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業～

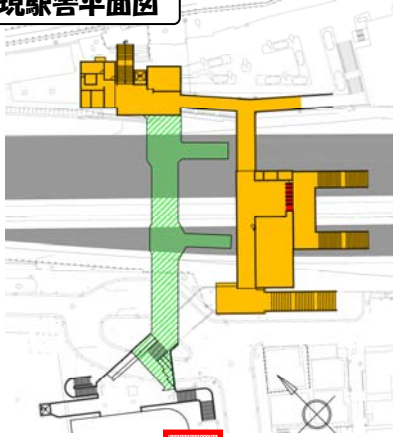
相模鉄道本線の天王町駅付近から星川駅付近にかけて進めている相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業では、鉄道の高架化に伴う星川駅の改良のため、星川駅の仮駅舎等の工事を進めておりましたが、この度、平成20年3月30日（日）の始発から使用開始が決まりました。

なお、南北を結ぶ仮設の自由通路（下図水色部分）につきましては、仮駅舎の供用開始に先立ち、3月14日（金）の午後から供用を開始します。



星川駅新旧比較図

現駅舎平面図



仮駅舎平面図



星川駅現況写真



平成20年2月29日現在(SFビルより撮影)

相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業 概要

区間 天王町駅付近～星川駅付近（保土ヶ谷区西久保～保土ヶ谷区星川3丁目）
 延長 約1.9km
 構造形式 高架方式
 駅施設 天王町駅、星川駅
 （ホーム延長：各210m）
 （ホーム幅員：約3m～約11m）

踏切除却数 9箇所
 事業期間 平成14年度～平成24年度
 整備効果

- ・交通の円滑化（踏切除却（9箇所）による交通渋滞の解消）
- ・安全性の向上（道路・鉄道の安全性向上、緊急時の活動等の迅速化）
- ・地域の発展（鉄道で分断された地域の一体化）
- ・利便性の向上（高架下空間の有効利用や駅周辺再整備による活性化）

